

曹洞宗総合研究センター 第16回学術大会プログラム

開催日 平成26年10月22日（水）～23日（木）

会 場 曹洞宗檀信徒会館（東京グランドホテル）

第1部会 3階 桜の間

第2部会 3階 蘭の間

第3部会 4階 芙蓉の間

大会日程

1、開会式 10月22日 9：30 桜の間

2、シンポジウム 10月22日 10：00 桜の間

◇『曹洞宗檀信徒意識調査報告書』刊行記念報告会
— 供養文化を担う人びと —

14：30 桜の間

◇ 峨山禅師650回大遠忌記念シンポジウム
峨山禅師とその相承 — 人材育成の先達に寄せて —

10月23日 10：00 桜の間

◇ 梅花流詠讃歌研究プロジェクト
研究報告 「梅花流詠讃歌研究の新視点」

3、個人研究発表 10月22日、23日（午前の部 10：00～ ： 午後の部 13：00～）

第1部会 桜の間

第2部会 蘭の間

第3部会 芙蓉の間

第1日（10月22日）…………… 2～5頁

第2日（10月23日）…………… 6～8頁

第1部会 〈桜の間〉

午前の部（10時～12時）

〈シンポジウム〉 『曹洞宗檀信徒意識調査報告書』刊行記念報告会 — 供養文化を担う人びと —

本発表は、平成26年3月に刊行された『曹洞宗檀信徒意識調査報告書2012年（平成24）』に基づき、曹洞宗檀信徒の実態について報告するものです。

本調査の結果にみられる檀信徒の宗教行動や宗教意識を通して、寺檀関係の現状に対する理解を深めてもらうと同時に、本調査が日本の宗教研究にも資するきわめて重要な意義をもっていることを伝える場としたいと思っています。

（司会：センター専任研究員 平子泰弘）

研究報告

- | | | |
|-------------------------------------|-----------|------|
| 1. 調査の概要 | センター専任研究員 | 平子泰弘 |
| 2. 寺院の役割と檀信徒の帰属意識 | 駒澤大学非常勤講師 | 徳野崇行 |
| 3. 檀信徒の意識から見えてくるもの | 東京大学大学院助教 | 松島公望 |
| 4. 年齢層差にみる檀信徒 — 初めての人口減少期を迎えた檀信徒と寺院 | 鈴鹿短期大学教授 | 川又俊則 |
| 5. 過疎地域における檀信徒の供養と菩提寺 | センター特別研究員 | 相澤秀生 |

午後の部（13時～16時30分）

13：00

- | | | |
|------------------------------------|-------------------|------|
| 1. 仏壇再考 — 日常的セルフケア・グリーンケアの視点から | 上智大学グリーンケア研究所客員所員 | 西岡秀爾 |
| 2. 道元禅師成仏論と国土観 | 愛知学院大学講師 | 菅原研州 |
| 3. 補陀寺所蔵峨山禅師頂相の紹介 — 月泉派下における相承について | 駒澤大学教授 | 飯塚大展 |

14:30

〈シンポジウム〉

峨山禅師650回大遠忌記念シンポジウム

峨山禅師の禅風とその相承 — 人材育成の先達に寄せて —

このたびのシンポジウムは、来年、厳修されます峨山韶碩禅師650回大遠忌にちなみ、太祖瑩山紹瑾禅師から受け継がれた峨山禅師の禅風と、總持寺・永光寺にて育まれた多くの後進の皆さまの足跡の顕彰を命題としております。そして、私ども法孫が、改めて曹洞宗の未来へ語り継ぐべきものを自覚する機会といたします。

(司会：センター専任研究員 宮地清彦)

1. 瑩山禅師と明峰・峨山禅師のつながりについて

駒澤大学教授 佐藤秀孝

2. 四つの峨山石 — 峨山禅師の顕彰問題

鶴見大学非常勤講師 尾崎正善

3. 『峨山和尚山雲海月』について

駒澤大学准教授 松田陽志

4. 峨山禅師の教えを相承された方がた (1)

— 通幻・太源禅師とその門流について

大本山總持寺副監院心得 山口正章

5. 峨山禅師の教えを相承された方がた (2)

— 無端・大徹・実峰禅師とその門流について

センター専任研究員 宮地清彦

第2部会 〈蘭の間〉

午前の部 (10時～11時40分)

10:00

1. 癒しの技法と僧侶

センター研修生 松葉裕全

2. 寺院におけるマインドフルネス療法実践への一試論

国際仏教学大学院大学 藤原 敦

3. 宗教教誨について

センター研修生 畔柳公潤

11:00

4. 巨樹・巨木を布教の機縁に — 巨樹・巨木巡りの本の内容を中心に

福岡県崇徳寺副住職 石井静也

5. 日中戦争に反対し夭折した齊藤秀一師 — エスペラントを愛した洞門僧

愛知県龍潭寺住職 別府良孝

午後の部（13時～14時20分）

13：00

6. 坐禅の心理学的研究の様相 — 呼吸に注目して

センター研究生 澤城邦生

7. 老病死を語る場と機会についての一考察 — がんカフェに学ぶ

センター研究生 寺門典宏

8. 「傾聴」再考 — 禅の教化としての試み

センター専任研究員 久保田永俊

14：00

9. 「一人称の教化論」の提案 — 「宗教の私事化」を考える — 試論

センター専任研究員 関水博道

第3部会 〈芙蓉の間〉

午後の部（13時～14時20分）

13:00

1. 寺族の「保護」は可能かⅡ

女性と仏教・関東ネットワーク 瀬野美佐

2. 息づく「禅」の食のこころ

滋賀県青岸寺寺族 永島慧子

3. 現代の仏像に対する信仰心について

センター研修生 中野太秀

14：00

4. 南山律宗における「五観偈」解釈について

センター講師 山本元隆

第1部会 〈桜の間〉

午前の部（10時～11時40分）

10:00

〈シンポジウム〉 梅花流詠讃歌研究プロジェクト
研究報告「梅花流詠讃歌研究の新視点」

梅花流詠讃歌研究プロジェクトは、仏教・曹洞宗の教学体系における詠讃歌の位置付けを考察するとともに、曹洞宗近・現代教団史における梅花流の歩みを検証することによって、現代社会における宗門の布教教化のあり方を構想することを目的としております。

このシンポジウムにおける研究活動の中間報告を通して今後の展望を考えていきたいと思
います。 (司会：センター専任研究員 平子泰弘)

研究報告

1. 中世洞門抄物に見る和歌の意義 センター研究員 清野宏道
2. なぜ、「梅花」なのか — 雑誌『大乘禅』に見る「梅花イメージ」の高揚 センター専任研究員 関水博道
3. 戦後宗門の社会事業と音楽布教
— 「曹洞宗宗務院社会部」の位置付けより センター専任研究員 宮地清彦

午後の部（13時～16時）

13:20

1. 社会的活動の実践による僧侶と寺院の変化 — 寺院への聞き取りを基に センター研修生 日比博英
2. 寺院から発信するAEDと救急救命法普及の実践活動 東京都高岩寺住職 来馬明規

14:00

3. 現代における寺院活動 — 笑いとユーモアによる可能性 センター研修生 中野孝海
4. 寺院の新たな経済基盤の一考察-受戒、礼拝行、教学と安心 センター研究生 君島真実
5. 仏前結婚式の研究 — 宗門における仏前結婚式とその可能性 センター研究生 本多清寛

15:00

6. これからの宗門とソーシャルメディアリスニングの重要性 センター研究生 阿部宗道
7. 坐禅会開催における「場」の考察 センター専任研究員 宇野全智
8. 一般人に対する坐禅指導法の考察 — 明治・大正期の健康法を参考に センター副主任研究員 小杉瑞穂

第2部会 <蘭の間>

午前の部（10時～11時40分）

10:00

1. 道元禅師の教化に関する一考察

駒澤大学大学院 西澤まゆみ

2. 「一顆明珠」巻における「定法」「不定法」について

駒澤大学大学院 山浦 歩

3. 『正法眼蔵』にみる『功夫坐禅得胸襟無事了、便是平穩地也』について

センター特別研究員 清藤久嗣

11:00

4. 晃全本『正法眼蔵』の本文編輯について

駒澤大学大学院 秋津秀彰

5. 文殊の白槌と時節の複合性 — 『従容録』「第一則世尊陞座」について

長福寺副住職 河村康仁

午後の部（13時～16時）

13:00

6. 『重雲堂式』に記された一文の解釈をめぐって

センター研究員 石原成明

7. 『典座教訓』のレトリック分析

駒澤大学大学院 コンスタンティノ・ミリアム

8. 『坐禅用心記』の定の解釈の再考 — 動静二相了然不生を中心として

駒澤大学大学院修了 下條 正

14:00

9. 「搭袈裟偈」考

センター専任研究員 古山健一

10. 天桂伝尊の經典観

センター副所長 志部憲一

11. 瑩山禅師と「学道」

センター研究員 加藤龍興

15:00

12. 輪住地における輪住から独住への移行について

曹洞宗文化財調査委員会主事 伊藤良久

13. 『伝光録』雪竇鑑禅師章における説示について

センター専任研究員 小早川浩大

14. 『伝光録』にみる投子義青代付説の宗義

駒澤大学総長 池田魯參

第3部会 <芙蓉の間>

午後の部（13時～16時）

13：00

1. 井上忠「ソクラテスと道元」「講座道元五」春秋社を再読する
東北女子大学教授 佐々木隆
2. 『釈禅波羅蜜次第法門』における持戒清浄について
駒澤大学大学院 大松久規
3. 天台教学における国土論と護国思想
駒澤大学大学院 比屋根貴彦

14：00

4. 雲門宗の禅者と浄土教—天衣義懐とその法孫たち
駒澤大学大学院 角田隆真
5. 枯禅自鏡とその門流—如浄が天童山の後事を託した臨済禅者
駒澤大学教授 佐藤秀孝
6. 『経山独庵叟護法集』所収の「玄翁禅師伝」について
駒澤大学大学院 上野徳親

15：00

7. 『大智禅師偈頌』「仏成道」について—大智の鎌倉参学を踏まえて
駒澤大学非常勤講師 舘 隆志
8. 慈光寺本「寛永六年扶桑国僧録古帳之写」について
新潟県永泉寺住職 深井一成
9. 備中における中世禅宗教団の展開
岡山県大通寺住職 柴口成浩

